



















冬野菜の生育状況と1月の価格見通しについて（1月10日現在）
 （東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	厳しい低温により生育遅延。
葉 茎 菜 類	厳しい低温により生育遅延。
果 菜 類	曇天の影響や気温の低下に伴い生育遅延。
土 物 類	収量は平年並。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年1月の入 荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			1 月 前 半	1 月 後 半
だ い こ ん	神奈川 (55%) 千 葉 (38%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
に ん じ ん	千 葉 (82%) 埼 玉 (10%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
は く さ い	茨 城 (84%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		

キャベツ	愛知(54%) 千葉(24%)	<p>厳しい低温により生育が遅れて小玉傾向になっていることから、<u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></p> <p>後半は、一部の主産県において、<u>昨年不作を受けて作付けを増やしていることから、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></p>		
ほうれんそう	群馬(36%) 茨城(19%)	<p>降雨の影響等により播種が遅れたことに加え、厳しい低温により生育が遅れていることから、<u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></p> <p>後半は、施設栽培の出荷量が増加してくるに伴い、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></p>		
ねぎ	千葉(33%) 埼玉(23%)	<p>厳しい低温により生育が遅れているものの、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></p> <p>ただし、今後、気温がさらに低下し、鍋需要等が増加すれば価格が上昇する可能性。</p>		
レタス	静岡(37%) 香川(14%)	<p>厳しい低温により生育が遅れていることに加え、兵庫県等において10月中旬の多雨で根痛みとなって生育が不良になっていることから、<u>出荷数量は平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></p>		
きゅうり	宮崎(41%) 高知(20%)	<p>曇天に加え、厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></p>		
なす	高知(62%) 福岡(19%)	<p>気温の低下に伴い生育が緩慢になっているものの、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></p>		

トマト	熊本(44%) 愛知(18%)	気温の低下に伴い生育が緩慢になっているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ピーマン	宮崎(38%) 茨城(10%)	曇天に加え、厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量は平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。 後半は、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	↗	→
ばれいしょ	北海道(63%) 長崎(26%)	北海道において収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。	↘	↘
さといも	埼玉(42%) 千葉(24%)	収穫は概ね終了しており平年並であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	→	→
たまねぎ	北海道(86%)	北海道において収量は平年並であるが、海外からの輸入が続いており、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 ただし、今後、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる可能性。	↘	↘